

令和3年度 第3回下松市地域公共交通活性化協議会

議事要旨

○日時：令和4年3月23日（水）10：00～11：30

○場所：下松市役所 1階 103会議室

○出席委員：18名（欠席3名）

真鍋委員、齋田委員、河内委員、田村委員、清水委員、田中委員、六反委員（代理：原田孝久）、相本委員、村元委員、古田尊委員、蔦委員、西林委員（代理：原田光広）、栗原委員、原田委員、田川委員、古田健委員、伊藤委員、金織委員

○事務局：企画政策課

○オブザーバー：株式会社バイタルリード

1 開会

2 議事

(1) 今年度実施事業について（報告事項）

- ・資料1を基に「タクシー助成」について事務局から説明。前回協議会で実証期間4か月間の内、3か月間分のデータについて報告したが、今回は全期間分のデータ分析結果に加え、タクシー事業者ヒアリング等の結果について報告する。
- ・4か月間でのべ987回の利用があり、1日平均では約8回となった。
- ・タクシー事業者の総運行回数等に占める助成利用の割合は1～2%程度と大きな数値ではなかったが、タクシー事業者ヒアリングでは、午後1時～4時ごろの閑散時間帯に利用が増え効率的な運用につながった、助成を機に久しぶりに利用された方がいた等の効果が把握できた。一方で、助成券への記入や確認が事業者の負担になるという課題も見えた。
- ・今後の展開としては、事業者や行政の手間を軽減するための助成券のデジタル化が考えられるが、これをベースにさらにはMaaSへ発展も見込める。実証事業と同様の助成をするには年齢や居住地等の個人情報との連携が必要になるが、利用者・事業者・行政の三者にとって便利な助成の仕組みとなることが期待できる。

発言者	発言要旨
会長	質問やご意見等あればお願いしたい。 タクシー協会の清水委員、いかがか。
委員	下松市のようにここまで前向きに取り組む地区は他に無い。今回の実証事業における1番のネックは、お客様の個人情報にかかわるような細かな記入が必要だったということである。一方、1番の成果は午後1時から午後3時または午後4時ごろの閑散時間帯に利用があったことである。タクシーは労働集約産業のため、拘束時間に対し賃金が発生する。数字は大きくはないが今後期待できる素晴らしい取組だった。 タクシーの状況は、12月は前年比1割減だったが、1月は一気に前年比3～5割まで落ち込んだ。当社は拘束時間に対して、正しく賃金が支払われるの

	で乗務員は安心して働けるが、一方で事業者としては非常に厳しいので、今回の実証事業については下松市に感謝している。
会 長	伊藤委員に県全体について総括をお願いしたい。
委 員	下松市の協力のもとで実証事業を実施し、先週、県の検討委員会で報告したところである。今回のような取組は、市街地や郊外で比較的目的地に近いところでは有効ではないかと思われる。ただ、利用時間帯が限られることについては利用と供給のバランス、趣旨の理解が重要と感じた。県としては年度内に報告書をHPで公開し、県内において横展開を図りたい。また、年度明けには各市町の協議会等で紹介していきたい。条件の合う地域においては課題も踏まえながら活用していただければと考えている。
会 長	各市町にも展開されることで、他市や交通事業者の支えになればと思う。次年度以降はどうか。次年度には補助はないと聞いているが。
委 員	次年度も同じテーマを実施するのは難しく、来年は公共交通のデジタル化に取り組むこととしている。小規模な事業者ではバスロケーションシステムの導入が難しいところもあり、昨年度から実施しているデータ化の取組で作成されたデータをバスロケーションシステムに使用するという実証事業について、山陽小野田市をフィールドに船木鉄道の協力を得て実施する予定である。今後はコミュニティバスへの活用も期待できると考えている。
会 長	本市でもDX(デジタルトランスフォーメーション)の計画を12月に策定している。その一環として次年度はデジタル化に積極的に取り組んでいきたいと考えている。

- ・資料2、3を基にコミュニティバス「米泉号」の令和3年4月1日～令和4年2月28日までの利用実績と、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助事業について報告する。11カ月期間中で利用者数は2,422人であり、前年よりもやや利用が減った。5月～9月は県外で緊急事態宣言が発出されたこともあり、出控えの影響があると思われる。
- ・曜日別では、木曜日が減少、特に予約区間が減少した。便別では2便が減少している。これは、毎週木曜日に特定区間を利用されていた3名が、昨年4月以降に利用されていないという事情があり、それが影響していると考えられる。一方、朝夕に通勤利用される方も1名いらっしゃって、1便・7便の利用増に寄与している。
- ・バス停別では、周南記念病院での降車に対し乗車が少ない状況となっているが、これは周南記念病院での受診後、タクシーでサンリブへ移動し、買い物をして米泉号で帰るという動きが確認されている。また、住民の要望を受けて令和3年1月に新設した「上地上」は、乗降とも多く利用されている。
- ・予約運行エリアでの予約者については、実予約者は16名、総予約件数は493件。上位2名で総予約件数の6割以上を占めている。
- ・11枚つづりの回数券は100円券が96セット、200円券が84セット、300円券が30セット販売された。令和2年4月より、運転免許返納者への記念品として、米泉号の回数券(100円券2セット)が選べるようになり、計4件の申し込みがあった。
- ・前回協議会でご承認をいただいた令和2年10月1日から令和3年9月30日までの国

庫補助事業として、自己評価を中国運輸局に提出し、資料 3 のとおり中国運輸局から二次評価結果をいただいた。利用者数が目的に達することができず、判定は C となった。今後も利用者のニーズや意見等の把握に努め、可能な限り利用者のニーズに沿った運行となるように改善しながら、利用者の増加に努めていく。地域において周知を図っていくため、その 1 つとして、1 台増やした米泉号の空き車両を活用した試乗会の開催などを考えている。また、今後もバスや J R のダイヤ改正に合わせてダイヤ調整を行っていく。また、国土交通省の令和 4 年度（運行年度:令和 3 年 10 月 1 日～令和 4 年 9 月 30 日）地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を申請し、認定された。

発言者	発言要旨
会 長	質問やご意見等があればお願いしたい。
委 員	資料 3 のように目標達成状況は C になっているが、下松市は利用者ニーズに応じて停留所を設けたり、免許返納者へ乗車券を配布したりするなどの取組をされているので、引き続き利用者の声を聞いて進めていただきたい。予約運行エリアの乗車が少ないのが課題で、利用者のハードルを下げたため試乗会をするとのことだが、他にも予定があれば参考に聞きたい。
事務局	今のところ、米川地区では購入した 2 台目の車両を活用した試乗会を考えているが、それ以外については案がない。なにか妙案があれば情報提供をお願いしたい。
委 員	予算や情報があれば提供させていただく。
会 長	バス増設や鉄道等との接続の調整などに努めているが、コロナ禍で正確な数字が把握できていないところもある。試乗会も含め、連合自治会に説明に行くなどしたい。まだ自分で車を運転して行けるという方も多いが、10 年後を考えていただければと思う。免許返納者への記念品については、路線バスへの IC カード導入を踏まえ、IC カードも選択肢に追加して啓発することも考えていると聞いている。
事務局	資料に掲載していない事業について説明する。笠戸地区と久保地区で 1 回ずつ協議を行い、久保地区では、昨年度実施したアンケートについて地区別の集計結果を回覧した。また、周南市・下松市公共交通マップのデータ更新を行った。新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大に伴って悪化している路線バス等の事業者支援のため、山口県市長会を通じて、国土交通大臣、山口県知事、山口県選出国會議員に対して、事業者支援に繋がる補助施策の実施要望を行った。

(2) 来年度の実施予定事業について

発言者	発言要旨
会 長	事務局より説明があればお願いしたい。
事務局	網形成計画の推進事業ではないが、『地域公共交通網形成計画に関する進捗等の分析及び地域公共交通計画の策定準備』。 事業の 1 つめとしては、多くの方に使用していただけるコミュニティバスとするために、米川地区及びコミュニティバス車内でのアンケート調査を

	<p>実施し、可能な限り意見を反映する。(事業②関係)</p> <p>笠戸島地区や久保地区では、中断していた協議に再度参加し、グループワーク等の実施などにより、実現可能で持続可能な移動手段の構築に向けて協議を進める。(事業②, ⑫, ⑬, ⑮関係)</p> <p>令和5年4月1日時点の掲載情報へ公共交通マップのデータを更新する。(周南市・公共交通事業者等関係者と協働により実施)(事業⑧関係)</p> <p>加えて、全事業のうち、実施可能な内容があれば精査しながら進めていきたい。</p>
委員	<p>ICカードについては、来年の3月を目指し周南市・下松市を中心に第1弾として導入予定。その1年後に山口市、萩市などの県西部に導入を進める予定としている。利用者の混乱が生じないように下松市内を走る全バスに対応するため、周南営業所の車両だけでなく、平生営業所と防府営業所の車両のうち、下松市内に乗り入れるすべてのバスに導入する。バスカードは、ICカード導入直前まで販売を行うが、導入後1年半後を目途に利用を打ち切りする予定としている。なお、ICカードの導入にあたっては国、県、市から補助をいただいている。</p>
会長	<p>先日の市議会でも議員から、いつまでバスカードが利用できるのかなどの質問が出た。市民等にもしっかりとした広報をしていく必要がある。</p>

2 その他(連絡事項等)

発言者	発言要旨
会長	そのほかの連絡事項があれば、事務局より説明があればお願いしたい。
事務局	当協議会の委員の任期がこの3月31日となっている。先日送付した4月1日からの委員の推薦と承諾書については記入の上、今週中に返送をお願いしたい。
会長	担当職員が異動する。一言どうぞ。
事務局	本日内示があり異動することになった。公共交通、協議会を5年間担当させていただき、大変お世話になりました。4月からは福祉支援課に異動となるが同じ庁舎にいる。交通は福祉部門との連携も必要な施策もあろうかと思うので、今後も公共交通について協力しながらより市民が住みよいまちになるように取り組んでいけたらと思う。長い間ありがとうございました。
会長	事務局より連絡事項等がありましたらお願いしたい。
事務局	次回協議会の開催時期は6月上旬を目途に考えている。例年どおり、米泉号の国庫補助申請に関係した協議を行うとともに、準備の進捗次第にはなるが、次期地域交通計画に関する協議を行う可能性がある。
会長	以上で第3回下松市地域公共交通活性化協議会を終了する。

— 委員名簿 —

	所属	役職	氏名
1	下松市	企画財政部長	真鍋 俊幸
2	防長交通株式会社	取締役 副部長	斎田 稔
3	中国ジェイアールバス株式会社	運輸部生活交通活性化推進室 室長	河内 政好
4	西日本旅客鉄道株式会社 山口支社	企画推進課 課長代理	田村 雅彦
5	メトロ交通株式会社	取締役	河村 英輝
6	一般社団法人 山口県タクシー協会	理事	清水 延隆
7	下松市自治会連合会	会長	田中 豊
8	シニアクラブ下松	会長	六反 弘道
9	社会福祉法人 下松市社会福祉協議会	常務理事	相本 美重子
10	下松市小・中学校 PTA 連合会 母親委員会	代表	村元 明里
11	下松市連合婦人会	会長	古田 尊子
12	中国運輸局山口運輸支局	首席運輸企画専門官	蔦 真
13	私鉄中国地方労働組合 防長交通支部周南分会	分会長	西林 光
14	中国地方整備局 山口河川国道事務所	交通対策課長	栗原 高己
15	山口県周南土木建築事務所	企画調査室主幹	壽恵村 良成
16	下松市	建設部長	原田 克則
17	下松警察署	交通課長	田川 勇
18	徳山工業高等専門学校	土木建築工学科教授	古田 健一
19	山口県観光スポーツ文化部	交通政策課長	伊藤 香緒利
20	下松商工会議所	専務理事	安野 政行
21	下松商業開発株式会社	代表取締役	金織 平浩